



一般社団法人日本化学連合シンポジウム

「海」 - 化学はどこに向かうのか -



申込はこちら

開催日時：2025年4月28日（月）13：00～17：40（予定）

開催方式：ZOOMによるオンライン開催

主催：一般社団法人日本化学連合

共催：（予定）化学工学会、クロマトグラフィー科学会、高分子学会、触媒学会、石油学会、日本エネルギー学会、日本化学会、日本ゼオライト学会、日本地球化学会、日本膜学会、日本薬学会

協賛：（予定）化学工業日報社、化学情報協会、日本セラミックス協会

後援：（予定）新化学技術推進協会

協力：（予定）Chem-Station

参加費：一般：5,000円（税込み）、学生：無料

Web-site：<https://www.jucst.org/>

申込方法：下記のサイトからお申し込み下さい。一般のかたは5,000円、学生のかたは無料チケットをご購入下さい。

<https://jucst2024sympo2.peatix.com>

開催趣旨：日本化学連合では、継続性のあるシリーズ型のシンポジウムの開催を企画していくことになりました。比較的大きなくくりでわかりやすいテーマを毎回決め、そのテーマに対して化学はどのように関わり、そこに存在する課題に対して何を成し遂げていけるのかを考えるシンポジウムです。今回は「海」をテーマとして開催いたします。皆様のご参加をお待ちしています。

プログラム

総合司会（ファシリテータ） 日本化学連合副会長 林 良雄（東京薬科大学生命科学科）

13：00～13：10 日本化学連合会長挨拶 関 隆広（名古屋大学未来社会創造機構）

13：10～13：50

「深海インスパイアード化学：化学が先導する持続可能な海洋利用」

出口 茂（海洋研究開発機構（JAMSTEC）生命理工学センター）

13：50～14：30

「海綿動物はなぜ、どのように生物活性物質をつくるのか」

脇本敏幸（北海道大学大学院薬学研究院）

14：30～15：10

「海水と淡水の塩分濃度差を利用した新規再生可能エネルギーの技術開発」

比嘉 充（山口大学大学院創成科学研究科）

15：10～15：20 休憩

15：20～16：00

「海の豊富な鉱物資源をどう利用して行くのか？」

鈴木勝彦（海洋研究開発機構（JAMSTEC）海底資源センター）

16：00～16：40

「陸域と海域のつながりに着目した環境技術開発に基づく沿岸・海洋生態系保全」

山本光夫（東京大学大学院農学生命科学研究科）

16：40～17：20

「脱炭素に向けた藻類のブルーカーボン・カーボンリサイクルへの応用」

田中 剛（東京農工大学大学院工学研究院）

17：20～17：35 総合討論

17:35~17:40 閉会の辞

林 良雄 (東京薬科大学生命科学科)

問い合わせ先: 日本化学連合事務局
secretariat@jucst.org